

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム宝生苑

## 目標達成計画

作成日: 平成 31年 4月 18日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	平成30年度研修計画において、身体拘束等の適正化のための研修を年1回開催することとなっている。	年2回以上の研修の開催	「アンガーマネジメント」「不適切なケア」というそれぞれ内容の異なる研修を年度内に2回実施する。	1ヶ月 2019年度中に実施する
2	26	介護計画の見直しの際のサービス担当者会議への本人及び家族の参加が出来ていない。	本人及び家族が参加できるサービス担当者会議の仕組みを作る。	家族への働きかけでサービス担当者会議への家族参加の機会を作る取り組みを続けながら、計画作成担当者が、家族の面会時や電話連絡での聞き取りにより情報収集している意向、要望を担当者会議で発信することで、職員全員が情報を把握できるようにする。また、会議録にもその内容を記載する。	3ヶ月
3	36	権利擁護、プライバシーに関する研修を実施できていない。他の研修等にてその内容に一部触れているがその内容は不十分である。	権利擁護、プライバシー保護についての研修を実施する。	次年度研修計画に権利擁護、プライバシー保護についての研修開催を盛り込み、研修を実施していく。	1ヶ月 2019年度研修計画から実施
					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。